

2022年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である株式会社学研データサービスが作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーションのホームページ（http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/）からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価結果概要

特に優れている点

一人ひとりに向き合い、個性を尊重する園の方針を、さまざまな保育活動の実践につなげています

園では入園のしおりの中で、法人共通の心得として「子ども一人ひとりを大切に」を最初に打ち出し、この考え方を日常の保育活動につなげています。例えば、乳児での少人数保育、年齢に合った手作りおもちゃの工夫、子どもの発想を大切にされたかかわり方、自己肯定感をはぐくむ言葉がけなど、子ども主体の保育を実践し、深めるように努めています。保護者からも、職員が子どもと同じ目線で向き合ってくれる、ほとんどの職員が子どもの名前を覚えてくれている、子どもの個性に合わせてくれている、などの声が寄せられています。

子どもの年齢や発達段階に合わせて、成長を支える保育を大切にしています

子どもが、やりたいことを選んで取り組める環境を大切にしています。0歳児から、おもちゃや絵本を選んで好きな場所で遊ぶ、ルールのある遊びを徐々に取り入れて友だちとのかかわりを広げるなど、保育者は見守りながら成長を支援しています。年齢が上がる、行事の内容を話し合っ決めて、午睡をなくして起きている時間は「部活動」を選択するなど、主体性を大切にしています。生活習慣も、発達に合わせて習得を支援しており、箸の使い方は塗り絵を活用して手首の動きを学ぶなど、個々の発達に合わせて適切な指導を行っています。

園庭の整備、室内遊び、屋内プールなど、環境を整えて健康な体作りを支援しています

園庭は、全園児が遊ぶには十分な広さがないことから、運動場、砂場、泥場などのコーナーを設置して、遊びが混ざらない工夫や、展開遊びを楽しめるような環境構成にしています。昨年、池を埋めて泥んこ遊び専用場にして、全身で泥の感触を楽しむ、泥で建造物を作る、水を流して遊びを展開するなど、ほかにはない遊びを提供しています。廊下やホールには、巧技台、マット、足蹴り車などでサーキット遊びをする、夏場は屋内にあるプールで天候や紫外線を気にすることなく遊ぶなど、環境面の工夫をして十分に体を動かすことができる環境を整えています。

さらなる取り組みが期待される点

単年度計画は、中・長期計画との関係性をさらに明確にすると、長期展望の中での位置付けがわかりやすくなるでしょう

園は5か年にわたる展望を中・長期計画で示し、年度ごとに振り返りながら単年度計画を作成しています。今年度の単年度計画においては、初めに中・長期計画の柱である環境整備、保育事業、研修関係に対応させて重点活動項目を記載してあります。その根拠として、中・長期計画上で、単年度計画がどのような位置付けになるのかを明示すると良いでしょう。例えば、5か年の中・長期計画の当年度までの進捗状況と、計画達成のために当年度に何をなすべきかを明示することで、単年度計画で掲げた重点項目の意義がいつつわかりやすくなるでしょう。

災害時の事業継続計画（BCP）が整備されていますが、今後は計画の実効性を上げることへの取り組みに期待します

園ではさまざまなリスクを想定して、安全確保の観点から各種対応に力を入れています。一方、災害などからダメージを受けた場合でも動く保護者や地域への子育て支援という観点に立ち、令和元年に事業継続計画（BCP）を作成しています。事前準備段階から災害発生後の全面回復に至るまでの5段階において、園の設備、人的資源などを備えた保育事業継続のための対応が示されています。今後は、計画の実効性を上げるために、計画内容について職員の間で深く理解し、訓練を行い、いざというときに行動に移せる体制整備に努めていく事を望みます。

ウィズコロナの中で、地域の子育て支援、保護者とのコミュニケーションを充実させていく取り組みの継続を期待します

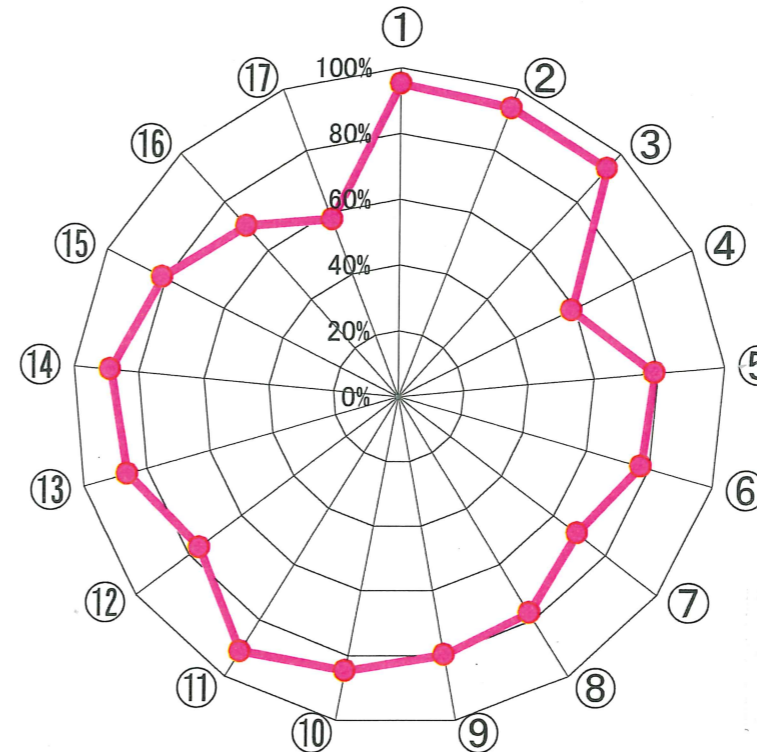
園長は、地域とのつながりを大切に園をもっと子育てに利用してもらえようようにしたい、と考えています。コロナ禍以前に地域の行事も中止が続いている中で、園庭開放やプレママ教室など種々の子育て支援事業を計画し、工夫して実施しています。その一方保護者からは、園の努力は理解しつつも、子どもの園生活の様子を知る機会が減っていることへの切実な声が多く寄せられています。今後も感染状況の動向に注意を払いながら、地域子育て支援事業の活性化と、保護者とのIT活用なども視野に入れた情報共有の機会作りへの工夫の継続を期待します。

利用者アンケート結果概要

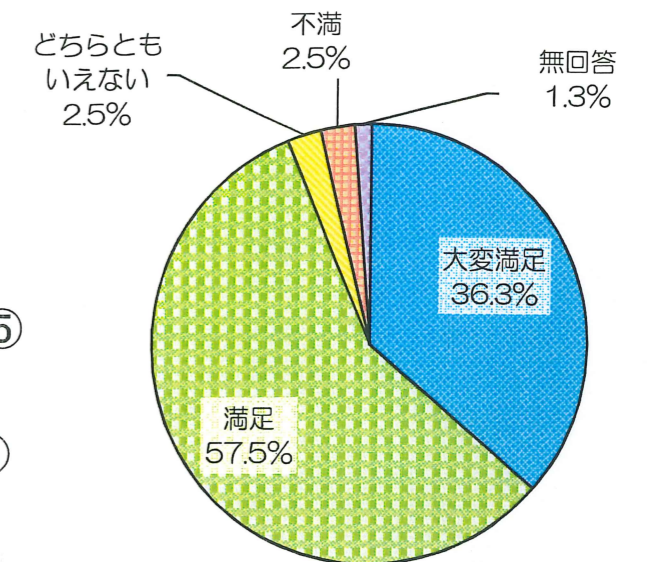
実施期間：2022年9月20日(火)～2022年10月4日(火) 回収率：71.4%

※10月11日到着分まで集計

質問別「はい」の回答率



園に対する総合満足度の結果



〈質問項目〉

- ① 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか
- ② 保育所での活動は、子どもが興味や関心をもって行えるようになっているか
- ③ 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか
- ④ 園生活で身近な自然や社会と十分関わっているか
- ⑤ 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか
- ⑥ 安全対策が十分取られていると思うか
- ⑦ 行事日程の、保護者の状況に対する配慮は十分か
- ⑧ 子どもの保育について、家庭と園に信頼関係があるか
- ⑨ 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか
- ⑩ 職員の接遇・態度は適切か
- ⑪ 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか
- ⑫ 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか
- ⑬ 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか
- ⑭ 子どもと保護者のプライバシーは守られているか
- ⑮ 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか
- ⑯ 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか
- ⑰ 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか

利用者アンケートの結果や福祉サービス第三者評価の結果の詳細内容は、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページで公表します※。（福祉サービス第三者評価のページからご覧いただけます）
※結果が公表されるまでに時間がかかる場合があります



「とうきょう福祉ナビゲーション」URL
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>
パソコンまたはスマートフォンでご覧ください

園からのコメント

アンケートにご協力をいただきありがとうございました。
保育園の理念に向かって更なる努力をして参りたいと思います。
子ども達が生き生きと活動できる場であり保護者の方に安心して
お子さんを預けていただける保育園でありたいと思います。
今後ご理解とご協力を宜しくお願い致します。

【福祉サービス第三者評価 評価機関】

株式会社学研データサービス R&C評価事業部
(認証評価機関番号 機構05-149)

